

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和3年2月13日

事業所名 おひさまSun

保護者等数(児童数) 55 回収数 37 割合 67 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	32	5			<p>伸び伸び活動させてもらっています。活動する場所など工夫されている。とても広く子ども伸び伸びと活動を楽しんでいます。子ども達が安全に活動できていると思います。</p> <p>コーナー遊びでは、体全体を使って遊び、楽しさが伝わってくるように思う。ちょうどいい。</p> <p>子どもの人数が多い日だとぶつかることが多い。その日の参加人数が多いと少し手狭かなと思うことがたまにある。</p> <p>10人の活動の日だと室内の見通しも悪く、怪我の心配もあったが、普段は十分だと感じる。</p> <p>行動が大きい特性を持つ子もいるので、少し手狭に感じる。</p>	<p>・ご意見ありがとうございます。今後も活動内容や環境に工夫しながら行っていきたいと思います。</p> <p>・室内は、最低基準以上の広さは確保していますが、人数に応じての内容の工夫は欠かさず行っていきたいと思います。</p>
	2 職員の配置数や専門性は適切である	31	3		3	<p>問題なく受けさせていただいております。よく子どもの様子をみて行動して下さっている。</p> <p>とても丁寧に子ども達に接して下さるのでありがたいです。</p> <p>先生方も常々目を配っていてその子に合わせて対応してくれています。</p> <p>プールの時は大変そうでした。たまに少ない、足りていない時がある。子どもの人数が多いと感じる時がある。時々でいいので、主な先生を変えてもらえると違った視点でのアドバイスや話が聞けるとよりありがたいです。</p> <p>少ない日でも3人はついてくれる。</p>	<p>・慌ただしくしている時もあり、申し訳ありません。複数職員が入ることで、対応できるようにしています。</p> <p>・基準がこども4名に対して大人1名です。最低基準以上の配置ができるようにしています。</p> <p>・活動の反省等次に活かすようにすることや研修等を通して、専門的に学べるようにしています。</p>
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	31	4	1	1	<p>ぞうの部屋の移動棚での仕切りに驚きました。</p> <p>人数にもよるが、着替えの場所が狭く感じます。</p> <p>バリアフリーかは、いまいわからない。棚に自分の荷物を入れるなど習慣化してきてよい。</p> <p>障害の特性に応じ、耳からの情報に弱めで視覚的に情報がいくように配慮してあると思う。</p> <p>人数にもよるが、着替えの場所が狭く感じます。</p>	<p>・職員間で、環境を考えながら対応するように心掛けています。</p> <p>・着替えの場所等については、人数に応じて場所を2ヶ所にする等工夫するようにしていきたいと思っています。</p>
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	34	2	1		<p>心地よく活動をさせてもらってます。</p> <p>以前、ハンドソープやティッシュが切れていたことがありました。</p> <p>いつもきれいな空間であると思う。</p> <p>洗面台前の床が濡れていることが多いので、足を付こうとしません。</p> <p>食事の前、きた時等消毒をするようになっていて清潔にされていると思う。</p> <p>清潔にされている。</p> <p>トレイのアルコールの大きさを大きくして欲しい。</p> <p>分離室が密になりやすいので、何らかの対処をもう少しして欲しい。</p> <p>バスタオルが絵の具で色が変わっており、使う際に抵抗がある。洗濯していて清潔なのは分かるし、貸していただけるだけで有難いのですが。</p>	<p>・ハンドソープやティッシュについてすみませんでした。準備の段階で確認するように心掛けています。</p> <p>・アルコールやバスタオルについては、改善していきたいと思っています。</p> <p>・ご意見ありがとうございます。</p>

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	35				2 本当によく見て理解して下さり、作ってくださっています。 よく見て頂いている。	・子どもに合わせながら行い、保護者の方と話をすることで、課題やニーズを計画に反映しています。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	31				5 毎度具体的な説明の上支援を頂いています。 保護者の意向を聞き入れた上でその子に合った支援計画が作成されていると思う。 具体的で分かりやすい。子どもの行動に隠された意味を具体的に教えてもらえるのが良い。	・支援内容をより具体的に話をすることを心掛けています。 ・保護者の方の意見やニーズ等取り入れながら行っていきたく思いますので、様々なお話頂ければと思います。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	34		2		1 支援いただいています。 各活動の個々の目標をあまり感じないが、活動を通して、こういうことを頑張った等教えてくれる。 行われている。	・おたよりでは、グループの月の計画となっておりますが、その中で、支援計画・支援内容については、打ち合わせの時間や振り返りの時間等でお子さんに合った支援を考え、共通理解できるようにし、支援へと繋げるようにしています。 ・月の計画では、感覚遊び、運動遊び、製作遊び、お散歩等感覚統合を主に取り入れるようにしています。	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	32		5			定期的な面談もして下さり、工夫頂いています。 固定されたものが多い気がする。 本人が興味を持って参加している。同じプログラムでは上達の具合が分かっている。 色々、家でなかなか出来ないような活動をして下さるので助かっている。	・ご意見ありがとうございます。 子ども達に合わせながら達成感が味わえるように、繰り返し行う活動も取り入れています。また、保護者の方の意見等も聞きながら取り入れていきたいですので、お話頂ければと思います。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の子どもと活動する機会がある	12		8	5	12 もう少し回数を増やしてもいいと思います。 わからない。 保育園以外ではあまりない。 もともとないが、今の現状では難しい。 くすの子保育園との合同イベントで交流があった。 仕事をしているので、なかなか交流の時に参加出来ていないので、何とも言えない。	・登録の9割以上のお子さんが幼保・認定こども園に併行通園しています。 ・コロナの関係で実施が難しい状況もありますが、くすの子保育園と種まきの機会に交流できるようにしています。 ・地域の行事等のお知らせを掲示等でできるようにしています。	
	10 幼稚園・保育園・認定こども園とおひさまSunの連携がとれている	25		7		5 幼保連絡会も助かっております。 幼稚園側の連携がないかと思うが、今のところ現状のままで良いと思っています。 くすの子の先生たちから特に聞かないのでわからない。 回数を増やしてもいいと思います。もっと密に連携を取って頂いていいと思います。 保育園の先生とよく連携をとって下さり、大変助かっています。 親が言えないことやアドバイスして下さるので、すごく助かっている。 連携を感じない。 連携が図られているので、とても安心して迎え等お願いできるので有難い。	・連絡会を年2回計画しています。保護者から聞いて欲しいこと等を含め、話しをしたことや情報交換を行ったことについては、保護者の方へお伝えできるようにしています。 ・今後もより良い連携ができるようにしていきたいと思います。よろしくお祈りします。	
11 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	36				1 説明された。 説明いただいています。 いつも丁寧な説明してもらっています。 今年の最初の説明に参加していないので、分からない。	・初めての方々には、配布と合わせて説明するようにしています。また、領収書等も配布するようにしていますので、分からない際は、スタッフまで聞いて頂ければと思います。		

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない			
適切な支援の提供	12 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	35			2	親が見逃している小さな変化、小さな成長によく気づいて教えてもらえるので良い。面談にて説明を受けています。全体はの活動内容の振り返りと個人の活動の様子等丁寧に毎回説明してくれます。とても分かりやすく説明して下さい。	・振り返りや個別に説明をするように心掛けています。また、気になることがありましたら遠慮なく聞いて下さい。	
	13 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われている	26	6	1	4	毎回、振り返りにて家庭支援プログラムをいただいております。おひさまSunでペアレントトレーニングの研修が行われると大変ありがたいので、是非また機会を作って頂きたいです。ペアレントトレーニングについて学ぶことができ、良かったです。日常生活にも取り入れたいと思います。ペアレントトレーニングとしては行われていないが、個人的に相談させて頂いて、子どもへの対応の仕方等を教えてもらっている。少しはされていると思う。	・ご意見ありがとうございます。ペアレントトレーニングについては、検討していきたいと思えます。 ・家族通園を通してきて頂いているので、客観的にマジックミラーから見て頂いたり、話をしたりしながら擦り合わせを行うようにしています。また、懇談会や療育相談の実施、子どもに合わせながら保護者と一緒に活動するグループ等も設定しているため、一緒に考え、実践できるようにしていることが、当事業所のペアレントトレーニングと考えています。 ・一人ひとりに合わせながら対応できるように心掛けています。	
	14 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができている	33		2	1	1	気に掛けて下さり、共通理解いただいています。保護者として参加できていないので日頃の状況が正直よくわかっていません。いろいろな相談や話をして下さる。その時の子どもの状況を先生へ伝えて理解頂いていると思います。いつも分からないことは、すぐアドバイスを頂けるので助かります。なかなかゆっくり話す時間がない。	・ゆっくり話ができません。活動日以外でもお話をする時間は設けられますので、遠慮なくお話し頂ければと思います。 ・振り返りの中で話をすることや専門療法士の先生から頂いた話等も振り返りながら保護者と話ができるようにしています。 ・特性に合った関わり等今後も具体的に話ができるように心掛けていきます。
	15 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	33		4			支援いただいています。相談をしたら、快く助言をくださったたり、聴いてくださったりするので感謝しています。いつでも相談することができ心強いです。定期的に面談が行われており、相談しやすいと思います。	・お話ができるように心掛けています。また、複数職員が入ることによって、一人ひとりと話ができるように心掛けています。 ・いつでもお話し頂ければと思います。
	16 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	26		9	1	1	支援いただいています。	・分離のグループ等に関しては、分離室にて保護者同士話ができるように部屋や時間を設けています。 ・懇談会は年3回計画しています。コロナの状況で実施が出来ていない状況がありますので、今後は工夫しながら検討していきたいと思えます。
	17 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	35		1		1	迅速かつ適切に対応いただいています。	・その日に対応できていない時もあり、申し訳ありません。相談等に関しては、その時や後日等、対応できるようにしています。
	18 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	35		1		1	配慮いただいています。	・打ち合わせや振り返り等を通して、職員同士情報共有しながら対応しています。また、保護者の方と随時話をさせてもらい、次に繋げられるようにしています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	19 定期的におたよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	34	3			発信いただいています。	・ホームページにおたよりや行事等を月に1回更新しています。 ・今年度の自己評価の結果に関しては、振り返りの際やホームページにてお知らせ・掲載予定です。
	20 個人情報の取扱いに十分注意されている	34				3 注意いただいています。	・契約時に説明させてもらっています。 ・別に掲載する際は、随時確認するようにしています。
非常時等の 対応	21 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	30	3			4 訓練の実施なされています。 定期的な訓練が行われており、非常時の対応がなされていると思います。	・契約の際や感染症に関しては、振り返りの際に話をするようにしています。また、更衣室、分離室に掲載するようにしています。 ・不審者対応も計画するようにしています。
	22 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	34	1			2 行われています。 訓練をしていることで子どもがテレビ等で災害等の映像を見たときに避難をすることを教えてくれるようになりました。引き続き、訓練をお願いします。	・月に1回避難訓練を計画しています。様々な火事・地震・風水害等を想定し計画するようにしています。 ・くすの子保育園と合同の総合避難訓練を年1回行うようにしています。
満足度	23 子どもは通所を楽しみにしている	35	2			楽しみにしています。 とても楽しく活動させていただき、子どもの成長も感じることができる。 お友達と会うことをとても楽しみにしています。 毎回とても楽しみにしています。	・職員全員が子どもが楽しめるように活動を計画し、対応や自信へと繋がる様に心掛けています。 ・子どもにとってどういう対応がいいのか迷われた際はいつでも連絡を頂き、対応できるように心掛けていきたいと思っています。
	24 事業所の支援に満足している	36	1			満足しています。 子どもの障害が重く、対応ができていないように見える時もある。	・家族通園を通して、日々の活動や関係機関等との連携を大切にしながら対応していくことを大事にし、よりよい形で支援できるように心掛けています。 ・ご意見ありがとうございます。活動の振り返りや専門療法士からの助言・連絡会や研修等で子どもへの対応へ繋げられるようにしています。いつでもお話頂ければと思います。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年2月13日

事業所名: おひさまSun

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		人数が多い際や行事等の際は、内容を考えながら過ごしやすいように設定を心掛けています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		4:1の基準の中、子どもに合わせて+1~2人配置しています。専門療法士の先生方にも来て頂いています。	子どもに合わせて行っていますが、人数等で至らない点もあるかと思えます。対応等日々打ち合わせ、振り返り等改善できるように心掛けています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		改善する機会を設けています。視覚的にも分かりやすいように設定しています。また、心のバリアフリーも大切にしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		掃除を毎回行い、活動の前日までに環境設定できるようにしています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		業務の見直しについて定期的に話合える機会を設けている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			意向を把握し、改善に努めています。また、事業所等の考えを伝える機会となっています。今後に繋げていきたいです。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページの掲載と合わせて、懇談会にて説明しています。懇談会の参加が欠席の方には、後日振り返り等でお話しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部に評価をお願いしていないが、第三者委員会にて評価を聞く機会を設けています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		常に研修に参加できるようにしています。専門療法士の先生から意見を取り入れ、学ぶ機会を設けています。他事業所との連絡会や幼保小等の連絡会も大事にしています。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		SDQを活用し、アセスメントを行っています。関係機関の情報も保護者からもらい、参考にした上で、反映するようにしています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		SDQを活用し、アセスメントを行っています。関係機関の情報も保護者からもらい、参考にした上で、反映するようにしています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		検討会議を行いながら作成しています。 連絡会等も大事にしていますので、記入をしながら保護者と話をするようにしています。 個別支援計画に掲載するようにしています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		振り返りの時間等大事にしていることや専門職の先生方にも意見を頂きながら支援へ繋げるようにしています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		素案を元に参加スタッフ全員で行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月の計画で活動内容が固定化しないようにしています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別対応で設定したり、状況に合わせてたりしながら計画を作成しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		打ち合わせやケースカンファレンスを行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		保護者との振り返りや職員との振り返りを行い、次に活かすことができるようにしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個人記録、全体記録をとり、つなげている。また、子どもの状態や保護者からの話も記録しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		日々の話や連絡会等の内容等も記載し、反映しています。	
	関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が中心に、担当者も参加しながら行えるようにしています。
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保健センター等での総合発達相談会への参加や連絡会等への参加、おたよりの掲載等を通して、連携を図ることを大事にしています。	
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/			今、現在は対象児がいません。
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/			今、現在は対象児がいません。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		幼保連絡会、幼保小連絡会を行い、連携を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援シートと併せて、就学先が決定した後連絡会を行い連携が図れるようにしています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修や公開療育等を通して、連携を図り、他事業所との勉強会を年2回行っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		同法人の保育園の園庭を利用した活動や行事を行い、登録児の9割近くが、幼保・認定こども園と併行通園しています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	○		理事長が子ども・子育て会議の委員、管理者が子ども部会の委員になっています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		家族通園の為、活動の前後、保護者と打ち合わせや振り返りを行います。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		ペアレントプログラムは行っていませんが、家族通園を通して、年3回の懇談会、療育相談の実施、振り返りや随時相談、保護者と一緒に活動をする機会を設け、話をしていくことが当事業所のペアレントトレーニングと考えています。	保護者からの希望もあり、事業所でペアレントトレーニング等を考えていけるようにしています。
保護者	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っています。変更等については、活動の振り返りの際に話をするようにしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		半年に1回になるが、話しをしながら反映し、同意を得ています。ニーズが変更する場合は、記録に掲載し、話しができるように心掛けています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		日々の振り返りや個別支援計画を通して、話す機会を設けています。希望に応じて随時面談を行っています。就園・就学前、年度が変わる時に話ができるように心掛けています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			父母の会は設立していませんが、分離・懇談会、行事等を通して保護者同士のコミュニケーションが図られるように心掛けています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
への説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		随時相談等、対応できるようにしています。	体制等で早めにお答えすることが出来ない場合もありましたので、後日相談の場合は、早めに調整できるようにしたいと思います。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページやお知らせを掲示しています。振り返り等直接話をさせてもらっています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		契約の際に確認しながら話をしています。ホームページやビデオ等を行う場合は、随時確認するようにしています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		家族通園の為、一緒に考えたり、関わり方等の話をしたりしながら繋げられるようにしています。子ども一人ひとりに合わせた対応を行うようにしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	職員が町内会に参加したり、隣接している保育園と一緒に行事を行っています。	必要に応じて検討していきたいと思っています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		掲示等を行い、周知しています。	掲示等の場所等も今後はお知らせしていけるようにしたいと思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月避難訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		家族通園の為、直接保護者の方等と話をしていることや健康チェックに記入してもらっているのを、把握し、確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		医師の診断書を基に除去食を提供しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			外傷記録を作成し、ミーティングや朝礼等で伝達や意見交換をすることで、防止に努めています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		必要に応じて関係機関と連携を行っています。職員も研修へ参加するようにしています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		基本、身体拘束を行っていません。